

【地区の魅力】

市東部に位置し、北部は芥子山、南部は神崎山や乙子城跡などの山並みに挟まれ、地区中央には吉井川が縦走しており、豊富な自然環境に囲まれた地域で、良好な眺望に恵まれている。中心市街地東部、吉井川と西川（鴨越用水）に挟まれた地区において、伝統的な建物や遺構が集積しており、歴史的街並みがよく維持されている。また、毎年冬に開催される伝統行事、西大寺会陽には、全国から大勢の観光客が集まる。芥子山周辺や吉井川河口部には、緑豊かでうるおいある住宅地が形成されている。平成4年より、西大寺地域の「ふるさと資源」調査が実施され、これに関連して平成6年には景観の面で着目した「新西大寺八景」が、地域住民の意見をもとに選定されている。

【地区の課題】

西大寺観音院周辺における歴史的地区は、地域の景観を特徴付ける良好な資源であり、これを維持保全し、中心市街地活性化とあわせて地域の魅力づくりに活用していくことが必要である。市街地を取り囲む丘陵地は、良好な市街地景観を構成しており、これらの維持保全とともに、地区のシンボルとなる芥子山への眺望景観の保全が必要である。農地に囲まれた新産業ゾーンや、県道岡山牛窓線などの幹線道路沿道における建物や屋外広告物の形態・意匠等の周辺景観への配慮が必要である。

【景観づくりの目標】

地域に愛される新西大寺八景を守り、豊富な自然、歴史的資源を活かした個性溢れる景観を保全形成するとともに、門前町としての文化・伝統を継承し、東部新拠点を核とした新しい顔づくりによる市街地景観づくりを目指す。

【地区の魅力となる景観資源】



百間川からの芥子山の遠景



水面に映える西大寺観音院



景観構造をなす吉井川



西大寺観音院門前町の街並み



旧河本町の街並み



乙子城跡(右)と小さな丘陵地

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 歴史的景観を保全、活用する	社寺などの歴史的資源を守る。
	西大寺観音院周辺や旧河本町の歴史的な街並みを守り、活かす。
	歴史的資源をネットワーク化し、魅力を高める。
2. 地域の拠点的な景観を形成する	門前町や商店街におけるにぎわい拠点を形成する。
	カネボウ跡地での新拠点にふさわしい魅力ある景観整備を進める。
3. 周囲を囲む緑の景観を保全する	芥子山の斜面緑地を守る。
	小さな丘陵地の緑地景観を守る。
4. 芥子山への眺望景観を活用する	眺望景観を活用する視点場等を整備する。
5. 吉井川や用水路などの水辺空間を活用する	吉井川のアメニティを高める。
	西川や水路の親水性を高め、市街地のアメニティを向上させる。
6. 幹線道路の沿道景観を修景する	屋外広告物の形態・意匠をコントロールする。
	緑豊かな美しい沿道景観を形成する。
7. 良好な住宅地景観を形成する	緑豊かなゆとりのある住宅地を形成する。
	地形になじんだ住宅地を形成する。
8. 大規模な施設を修景する	大規模施設の形態・意匠等を誘導する。
9. 農業景観を保全する	まとまった農地を適切に維持し、営農環境を守る。

図 景観づくりの方針

